

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日 令和4年5月16日<第3号>
発行元 東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電話 03-5802-0318
ホームページ <https://www.kyoiku-kenkyu.metro.tokyo.lg.jp/10/jikai/yosei/index.html>

●第5回教科等指導力養成講座

令和4年3月12日(土)教職員研修センターと各塾生の端末をオンラインで接続し(双方向型ライブ配信)、第5回教科等指導力養成講座を実施しました。

高瀬主任指導主事の挨拶では、「一時中断期間に培ってきた学びや経験を再開後の特別教育実習に生かしてほしい。」というお話がありました。

○ 講義・演習「授業づくり②」

東京教師養成塾教授を講師から、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりについての講義・演習がありました。塾生は、児童・生徒の学びの姿を想定し、必要な支援・手だてを考えることの重要性を学びました。

○ 講義・演習「特別活動①」(小学校コース)

東京教師養成塾教授から、特別活動の概要、学級活動の目標・内容・特質、学級活動(1)の授業づくりについてのお話がありました。東京教師養成塾第15期修了生の学級会の実践動画の視聴を通して、1単位時間を想定した学級会の流れを学びました。

○ 講義・演習「教材づくり」(特別支援学校コース)

東京教師養成塾教授から、教材づくりの講義がありました。特別支援教育におけるICT活用、ICTを活用するに当たっての視点、アクセシビリティ等のテーマに関係して、多くの例に触れることで、教材づくりのイメージを膨らませました。

○ 講義・演習「外国語」

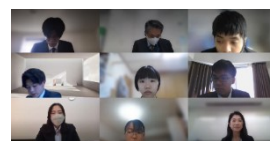
文部科学省初等中等教育局 直山 木綿子 視学官から、英語教育実施調査の結果等をもとに、一人1台学習者用端末を活用した実践や外国語教育における言語活動等について、講義・演習がありました。小・中・高を通した外国語教育のめざす方向性や、外国語教育の充実にむけた指導方法の工夫等について学びました。

○ 班別協議「形成期の振り返り報告会」

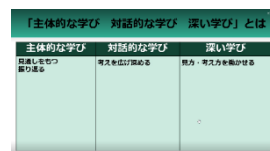
午後の班別協議では、プレゼンテーションソフトを活用し、形成期の特別教育実習における自身の成果と課題を発表し合いました。発表内容を踏まえて協議を行い、4月からの特別教育実習に向けた目標や具体的な取組を考えました。

【塾生の感想より】

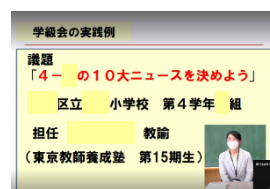
- 授業づくり②を通して、各教科等の特質について理解した上で、重視する学習活動について把握することが必要であることを学んだ。
- 外国語①では、目的や場面、状況を明確にすること、誰にとという相手意識・目的意識が大切であること、誰に向けてかを児童と共有し、児童がそれを意識することが大切であるということ学んだ。
- 「特別活動①」の講義・演習では、学級会では教師は支援的な役割で議論の活性化を図っていくことが重要であると考えた。実際に指導をするときにもこのような姿勢を大切に、児童の議論を活性化できるようにしていきたい。



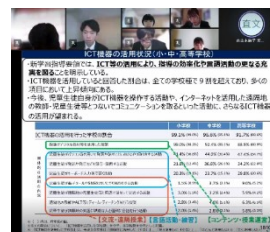
挨拶



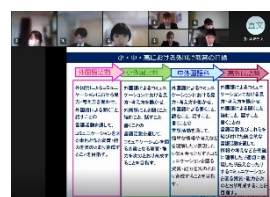
授業づくり②



特別活動①



外国語



外国語

所属、職名は講座実施日時点のものです。

●第6回教科等指導力養成講座

令和4年4月9日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、第6回教科等指導力養成講座を実施しました。まん延防止等重点措置の解除に伴い、第2回講座以来の集合研修となりました。

大久保主任指導主事の挨拶では、児童の体力や運動能力に関する昨今の状況を踏まえ、体育学習の充実についてのお話がありました。塾生にとって、体育の講座の前に改めて体育科の授業の重要性について考える機会となりました。

○ 講義・演習「体育①②」

東京教師養成塾教授から実技「マットを使った運動遊び」、実技「多様な動きをつくる運動遊び」、講義・演習「体育の授業づくり」がありました。実技の体験を通し、育成をめざす資質・能力や、運動の特性に応じた指導方法について実践的に学びました。

○ 講義・演習「教師の魅力と責任②」

教育開発課小野統括指導主事から「教師としての責任と自覚をもって」との副題で、個人情報管理の適切な管理、体罰等の禁止、私的なメール・SNS等の禁止等について講義がありました。事例を基に、服務を厳正することや、適切な対応について、丁寧に確認をしました。

○ 講義・演習「特別支援教育」(小学校コース)

教育開発課小林指導主事から、「特別支援教育の理解」と題して、特別支援教育の理念や東京都における施策や取組、通常の学級における特別支援教育の推進についての講義がありました。発達障害の特性や指導方法等について、基礎的な内容を学習しました。

○ 講義・演習「各教科等を合わせた指導②」(特別支援学校コース)

教育開発課須藤指導主事から、各教科等を合わせた指導の2回目として「生活単元学習」についての講義がありました。後半は新たに設定された2つの班に分かれての単元づくりの演習を通し、知的障害各教科のねらいとの関連性について実践的に学びました。



挨拶



マットを使った運動遊び



多様な動きをつくる運動遊び



班別協議 (午前)



教師の魅力と責任②



特別支援教育



班別協議 (午後)

【塾生の感想より】

- 私は運動が苦手で、体育の授業が昔から嫌いだった。しかし、今日の講座では、他の受講生と関わり合いながら楽しく体を動かすことができた。自分が認められる環境づくりが児童の運動意欲を引き出す上で大切だと実感した。
- サービスについての講義・演習では、ハウレンソウを大切にすることを改めて学びました。ハウレンソウを管理職にすることによってより大きな事故につながることを防ぐことができるということを学びました。特別支援教育では、すべての児童にとってわかりやすいという意識していきたいです。
- 「困った子」は「困っている子」で、教師はどうしたら児童のつまずきの理由を理解し、改善に結び付けられるかという話題が班別協議で出た。しかし、それに正解はないので、これからの実習の中で先生方と密にコミュニケーションをとり、児童とのよりよい関わり方を探っていきたいと思った。
- 各教科等を合わせた指導について、どの教科がどのように関係し合っているのかを明確にすることが大切だと分かった。今後の実習では、観察を通してこれらの視点を養っていきたい。